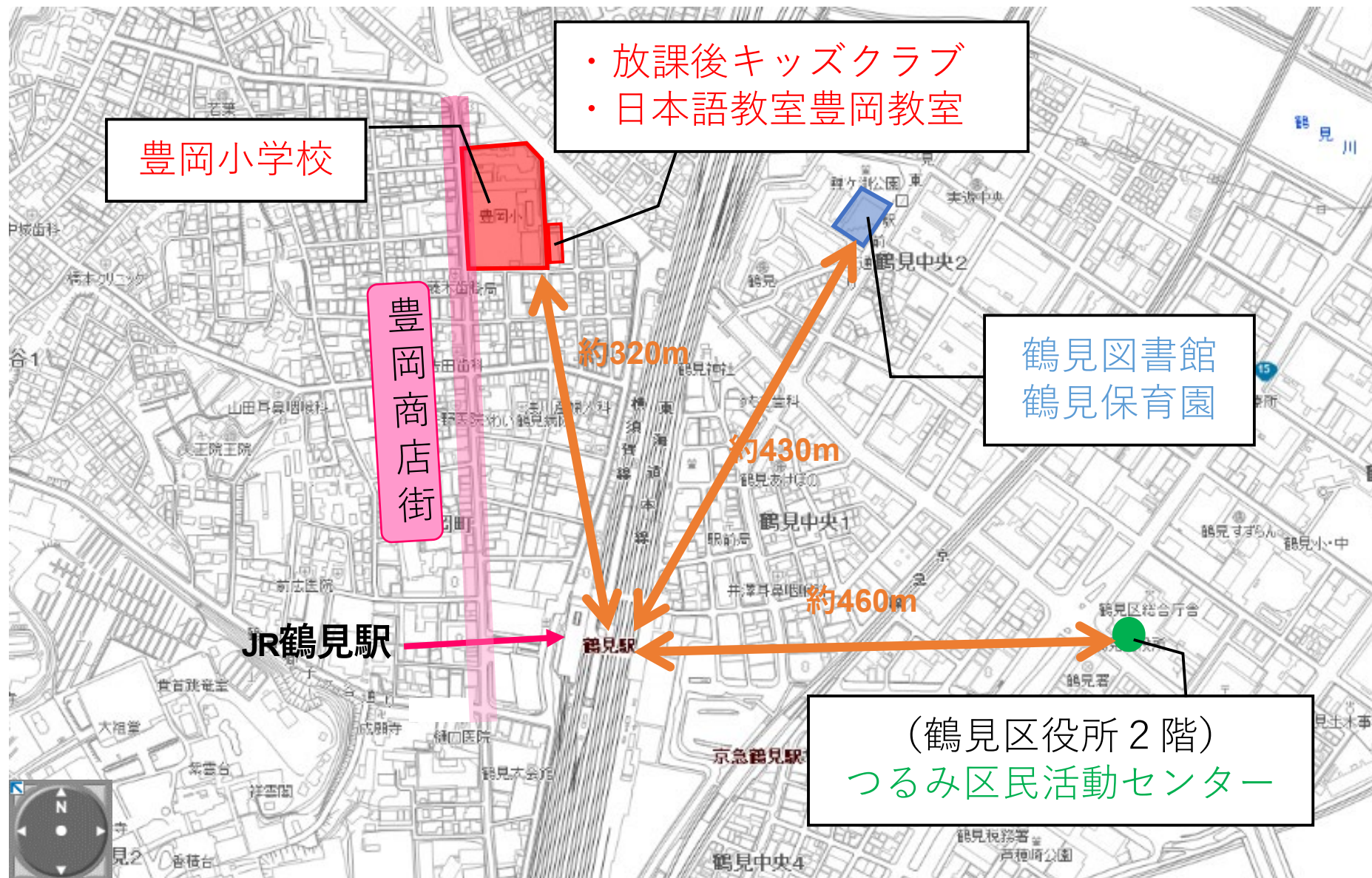


(仮称) 豊岡町複合施設について

周辺状況



鶴見区の状況

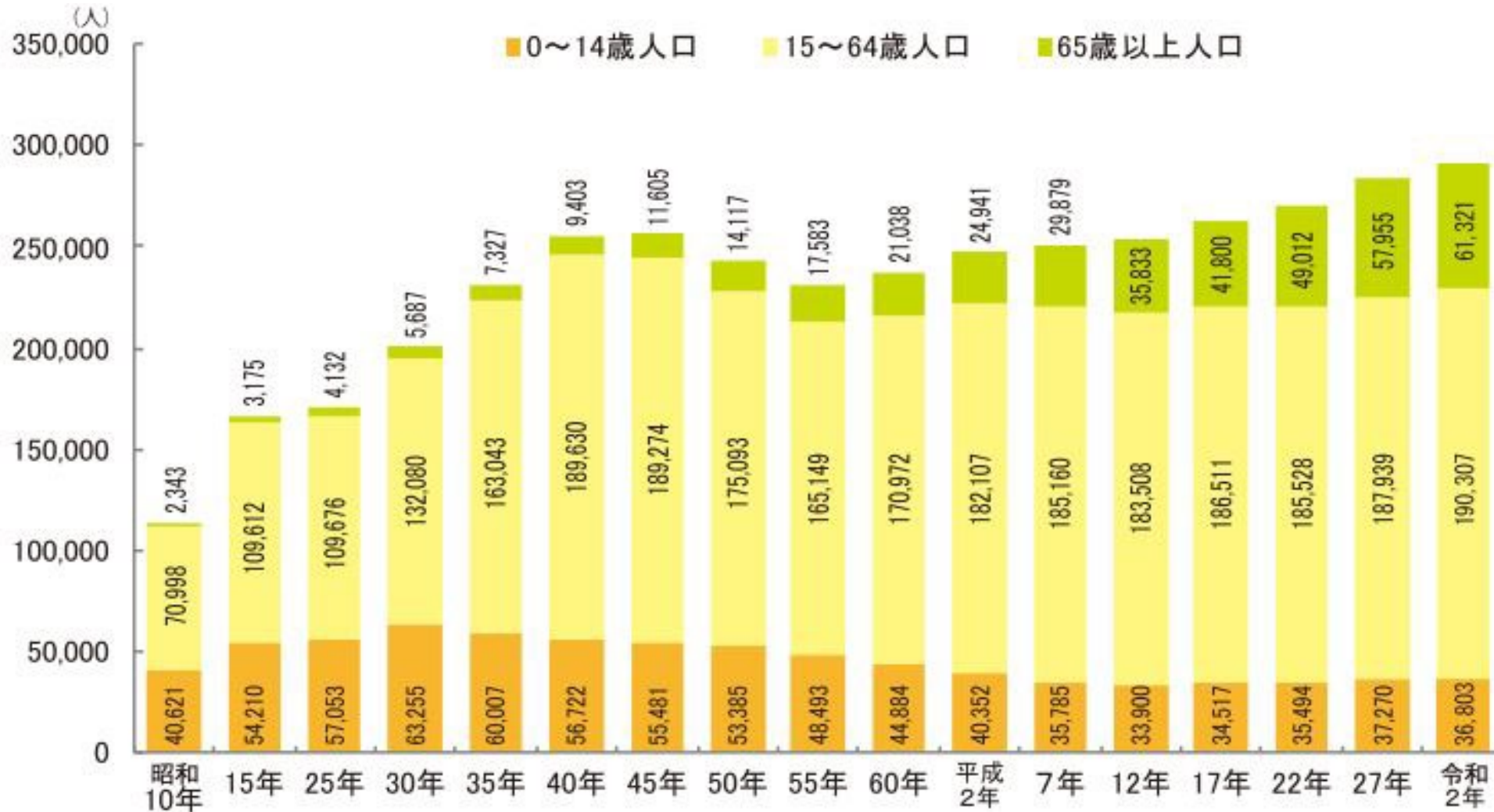
◆人口	29.6万人	18区中 3 番目に多い
◆世帯数	約14.6万人	18区中 2 番目に多い
◆平均年齢	44.27歳	18区中 4 番目に若い



鶴見区の状況

出典：データで見る鶴見区（令和3年度）

年齢3区分別人口の推移



計画敷地の条件

所在地・アクセス	横浜市鶴見区豊岡町27番地 1 (現豊岡小学校西側敷地) J R 京浜東北線鶴見駅西口下車 徒歩7分 京急線京急鶴見駅西口下車 徒歩9分
土地面積	約9,726m ²
用途地域等	商業地域 (建ぺい率80%、容積率400%)
高度地区	第七種高度地区
防火・準防火地域	防火地域

事業の概要

駅に近い立地、小学校の建替えの機会を捉え

小学校、図書館、保育園、区民活動センター、民間施設等を
複合整備

各機能が、**連携・融合**し、新たな価値を創出し、
地域の活性化や、魅力の向上を目指す

公民連携により、**民間事業者のアイデア、ノウハウ**を生かし、
施設の機能、運営内容等を検討していくことを想定

(仮称) 豊岡町複合施設について

コンセプト (素案)

つながる学び舎



多世代交流、多文化共生

地域の新たな魅力を
発見・創造・発信

つながりが生む
安全・安心・活力



知の拠点

幼少期から切れ目ない
保育・教育・育成

新たな学び、豊かな
学び



“つな が り”を生み、
地域が居場所になる

人がつどい、つながる場所
子育て世代をはじめ全ての世代に
居心地のよい場所

“学 び”で
人生を豊かにする

子どもたちの未来を育む学び
大人の人生を豊かにする学び

基本構想策定に向けた対話（サウンディング型市場調査）

●対話時期

2023年 1 月17日～31日（予定）

●現地見学会

2022年12月7日 13：30～

鶴見区や地域の特徴等についてもご説明します。

詳しい実施要領は本市HPからご覧ください

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/8ac91d26-35c9-4d54-a0e4-7e240bb4d1b2/start>



対話内容

◆魅力ある機能や空間づくりのアイデア

例) 機能融合による付加価値の創発のアイデア

◆民間機能

例) 複合施設と相乗効果を発揮する民間機能

◆事業スキーム

例) 事業手法、施設構成イメージ、工期短縮のアイデア

◆想定を超えるアイデア

例) 都市計画等の法令制限の緩和、整備条件の変更

(仮称) 豊岡町複合施設について

既存施設の規模（概算）

	小学校	放課後 キッズクラブ	日本語教室	保育園	図書館	区民活動 センター
床面積	6,300㎡	100㎡	100㎡	620㎡	1,510㎡	300㎡

- ・これに参考に、機能や空間づくりの考え方等について
自由なアイデアをお願いいたします。

今後のスケジュール（予定）

令和5年度 基本構想策定

民間事業者のみなさまの
アイデアをお待ちしております！

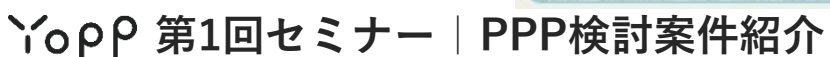
（仮称）旧上瀬谷通信施設公園 の公民連携について

**横浜市 環境創造局 公園緑地整備課 上瀬谷担当
石原 従道**

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園



Yopp 第1回セミナー | PPP検討案件紹介



(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園

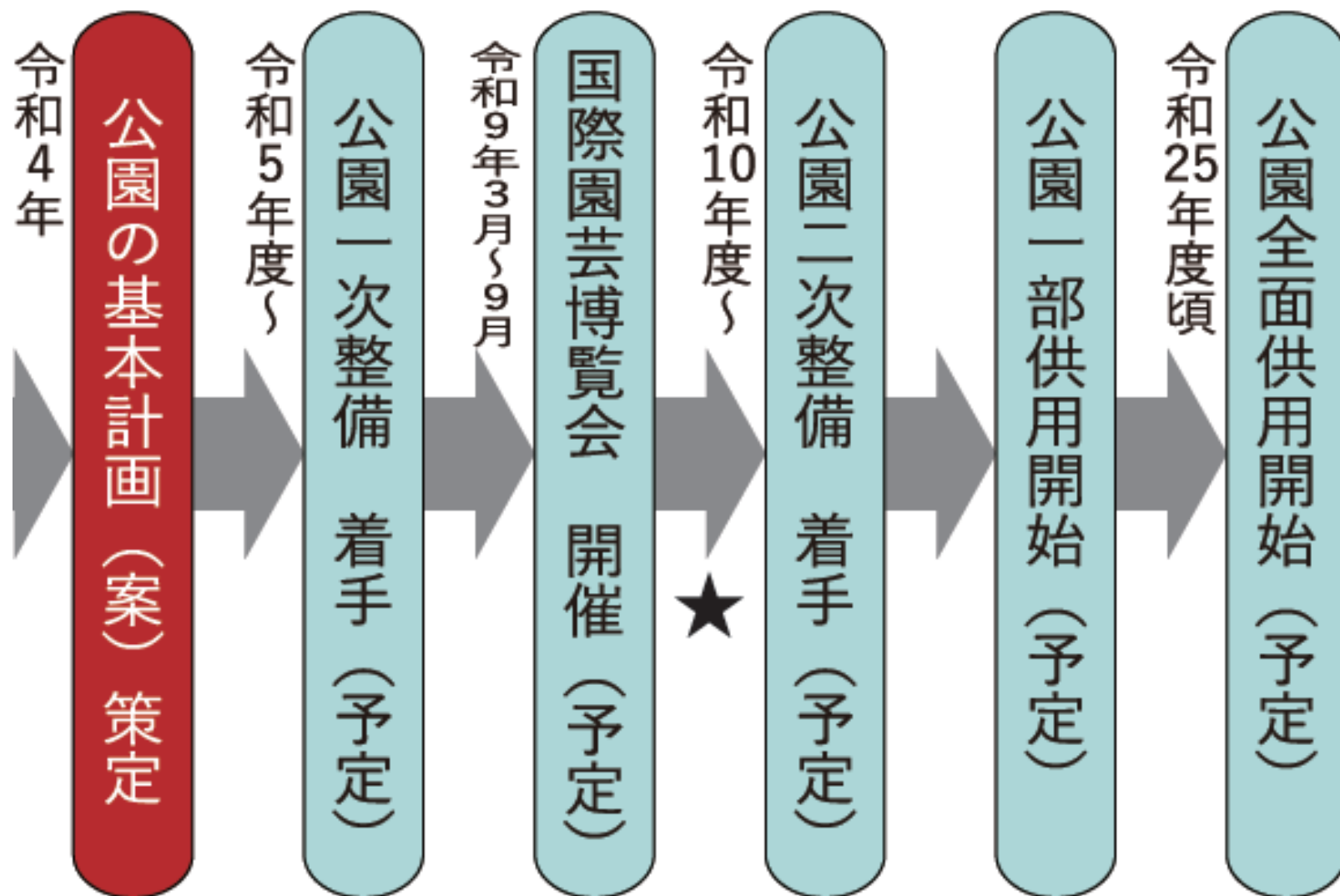
基本テーマ

『「みどり」で広がる暮らしの風景』	
花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で「みどり」とともにある持続可能な多様なライフスタイルを実践・発信する。	

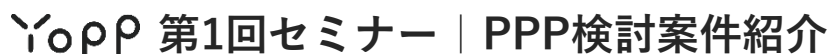
8つの方針

つくる	① 上瀬谷の「緑」と「水」を基調とした公園
	② グリーンインフラの展開と緑の多面的機能の発信
	③ 防災・減災に資する公園
つかう たのしむ	④ 「農」と持続可能なライフスタイルの融合
	⑤ 多様な主担が参画し、様々な楽しみ方を引き出せる公園
	⑥ 四季を通じて楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園
たかめる	⑦ 国際園芸博覧会のレガシーの継承・発信拠点
	⑧ 公民連携による質の高いサービスの提供

整備スケジュール



- 北地区サウンディング調査（実施中）
- 新技術導入等（今後、説明会の開催や、共創フロントによるアイデア募集などを実施予定）
- 多様な主体による管理運営等（今後検討）



1 Park-PFI（公募設置管理制度）による施設整備を伴う民間事業の導入

(1) 横浜動物の森公園（里山ガーデン）

- ・ 収益施設

アスレチック等

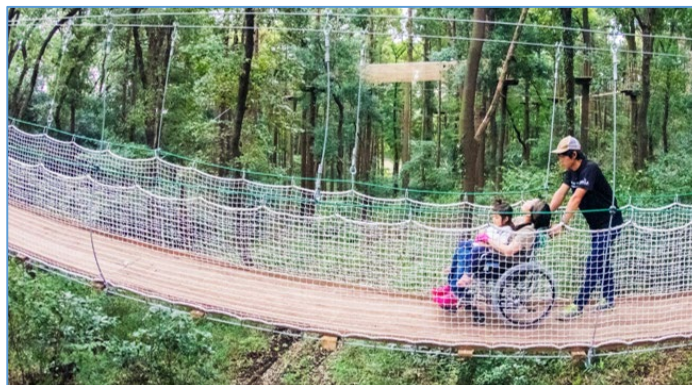


- ・ 公園への還元

遊歩道整備

樹林地管理

トイレ清掃



(2) 山下公園レストハウス

- ・ 収益施設

飲食・物販店舗



- ・ 公園への還元

園地整備・管理、トイレ清掃等

2 公募型行為許可制度による民間事業の導入

(1) 山下公園・大通り公園

- ・ 収益事業
健康づくり（ヨガ等）イベント



- ・ 公園への還元の取組
清掃活動等

(2) 横浜動物の森公園（里山ガーデン）

- ・ 収益事業
キッチンカーによる飲食物販売



- ・ 公園への還元の取組
無料休憩スペースの用意等

3 公園利活用に関する受発信窓口「Park-PPP Yokohama」

略称「P×P（ピーバイピー）」

(1) 公募情報等を発信

- ①ホームページ：各公園の利活用に関する公募情報を一元的に掲載
- ②Eメール：公募情報や公園の公民連携に関するお知らせを登録事業者に随時配信
- ③セミナー：大学や民間事業者等との共催セミナーなどでの情報共有や意見交換

(2) 相談・提案を受け止め、一元的に関係部署及び提案者と検討・調整

【相談・提案の例】

- ①地域の事業者等による公園愛護会の活動との連携 など
- ②公益性を確保しつつ事業者等のアイデアを活用した施設整備 やイベント など

(3) Park-PPP Yokohamaの連絡先等

- ・ 窓 口：公園緑地管理課公民連携担当（市庁舎27階）
- ・ 電 話：045-671-3847
- ・ Eメール：ks-koenppp@city.yokohama.jp
- ・ ホームページ：<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/renkei/madoguchi/>

★ Eメール配信の登録方法

- ・ 事業者名、部署名、氏名、Eメールアドレスをks-koenppp@city.yokohama.jpへ送信してください。
- ・ Eメールの件名は【Eメール配信希望】としてください。

★ 相談・提案の受付方法

- ・ ホームページ上の受付フォームから送信してください。
- ・ 受付後、提案内容を直接お伺いします。

2027年国際園芸博覧会～横浜開催～

2027年国際園芸博覧会概要

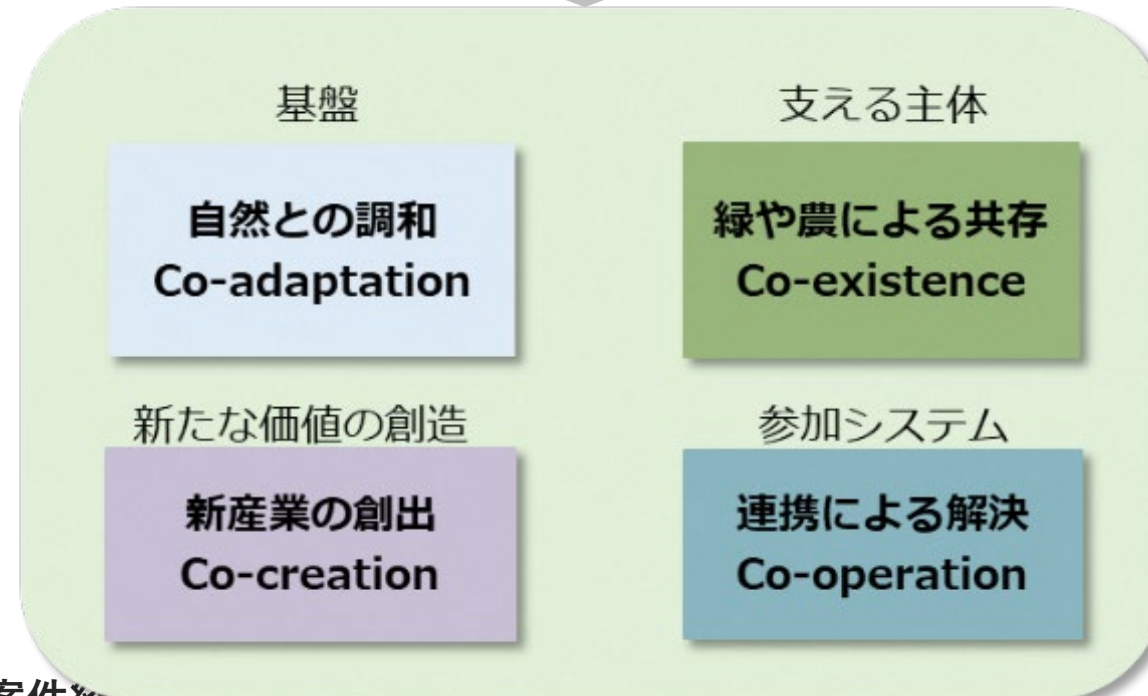
クラス	A1
会場	旧上瀬谷通信施設 (横浜市)
会期	2027年3月19日から9月26日まで
メインテーマ	幸せを創る明日の風景
参加者数	1500万人 (地域連携やICT（情報通信技術）活用などの 多様な参加形態を含む) 有料来場者数 1000万人以上

博覧会のテーマ

メインテーマ



サブテーマ



多様な主体の参加

- ・ 国や国際機関、民間企業、自治体、市民等多様な主体による参加



庭園



シンボル展示



Village
| セミナー | PPP検討案件紹介



※2022年7月現在のイメージ



コンペティション



Park Pavilion



Farm to Table STREET

コンペティション

- 庭園及び花き等のコンペティションに加え、本博覧会独自のコンペティションを実施



|セミナー

シンボル展示（主催者展示）

- ・ バイオフィリアや植物資源に関する展示を通じ、来場者ひとりひとりに自然とのつながりを発見してもらい、意識や行動の変化を促す



Park Pavilion

- ・ 博覧会の趣旨に賛同する企業のビジョンを、特徴ある魅力を備えた庭園と共に表現し、新しい風景づくりを企業と実施



Village（協会テーマ事業）

- 協会が設定する複数のテーマに応じ、賛同する民間企業や教育機関、研究機関、市民などが共創して、参加・交流・体験等の多様なコンテンツの集合体やコミュニティを提供






食体験事業（Farm to Table STREET）

- 来場者が旅をするように世界中の風景・食・文化・人とのふれあいを五感で楽しむシーンを創出
- 身近な食を通じて食料危機や農業の課題を認識することで、博覧会のテーマを実感してもらう



展示スペース

タイプI (土地タイプ)	タイプII (建物タイプ)	タイプIII (共同施設)
		
庭園による展示のみ	屋外建築施設建設 庭園での展示も可能	開催者が建設する屋 外建築施設の区画を 借り受けて展示
展示制作費用は 出展者負担	屋外建築施設建設 & 展示制作費用は出展 者負担	屋外建築施設建設は 開催者負担、展示制 作費用は出展者負担
2026年5月引渡し	2026年3月引渡し	2026年10月引渡し

現在の進捗状況

▼ We are here!

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
基本計画 国際関連	★基本計画策定 BIE認定申請	規則・ガイドライン作成、BIE総会・AIPH総会参加報告、公式参加招請				最終報告
会場整備	★区画整理事業先行工事開始	★公園事業による会場整備工事開始				撤去
展示	会場基盤、会場施設等計画・設計	工事				博覧会開催
コンペティション	展示計画、設計	展示内容検討、展示整備、運営計画				
輸送事業	コンペティション計画	コンペティション・エントリー受付・体制整備				
機運醸成	バス輸送検討、駐車場候補地選定	バス運行計画、駐車場整備				
	★公式ロゴマーク決定					
	広報ツール、イベント等を通じた機運醸成					公式記録



Thank You!

**EXPO2027
YOKOHAMA
JAPAN**

